

持続可能な未来都市を支える 交通システムのイノベーション

横浜国立大学がサテライト機関として参加する「共進化社会システム創成拠点（中核拠点：九州大学）」では、文部科学省のセンター・オブ・イノベーション（COI）プログラム（2013 年度～ 2022 年度（最長））により、環境性、経済性、社会性のバランスを保ちながら、多様な主体が共に進化する「共進化社会システム」の実現を目指した研究開発を行っています。

横浜国立大学は、上記の拠点が研究開発の対象とする「交通」「エネルギー」「市民サービス」の3領域のうち、「交通」に関する中心的な役割を担っており、持続可能な未来都市を支える交通システムの研究開発を行っています。

このシンポジウムでは、「共進化社会システム創成拠点」における横浜国立大学の取り組みと成果の報告を中心に、同じ COI プログラムの下、「人がつながる“移動”イノベーション拠点」で交通分野の研究を進める名古屋大学の取り組み（横浜国大とも連携）、および関連する他分野（エネルギー、情報基盤）の取り組みを紹介します。また、それらの研究開発成果の社会実装に係るステークホルダー（行政、企業など）を交えて、未来の都市における交通システムのあり方について議論します。

また、今回は、2017 年 8 月に横浜国立大学が海外オフィスを設置した米国オレゴン州ポートランド州立大学都市学科長アーロン・ゴルブ先生にもご参加いただき、米国の都市交通研究の最先端で活躍されている研究者の目線で、我々の活動に対して示唆をいただく予定です。

プログラム

1. オープニング

開会挨拶

中村 文彦 | 横浜国立大学 理事・副学長

ビジョナリーリーダー補佐挨拶

金子 昌史 | ビジョン3 ビジョナリーリーダー補佐

2. 講演その 1

基調講演

中村 文彦 | 共進化社会システム創成 拠点・モビリティ部会長

：都市交通のモビリティ・デザインと共進化社会（仮）

横浜国立大学の取り組み

有吉 亮 | 横浜国立大学 特任准教授

：スマート&マルチモーダル・モビリティシステムの開発（仮）

名古屋大学の取り組み

名古屋大学 未来社会創造機構 森川 高行 | 名古屋大学 教授

：名古屋大学 COI のモビリティ研究とモデルコミュニティ形成プロジェクト（仮）

名古屋大学 未来社会創造機構 剣持 千歩 | 名古屋大学 研究員

：中山間地域におけるモビリティ支援を中心とした持続可能なコミュニティ形成プロジェクト（仮）

— 休憩 —

2017 年 12 月 13 日（水）
17:00 - 20:00 受付 16:00 -
横浜情報文化センター 6 階 情文ホール

参加費無料（200 名）

主催：横浜国立大学 COI サテライト

場所：横浜情報文化センター 6 階 情文ホール 横浜市中区日本大通 11 番地

●JR「関内駅」南口 / 徒歩 10 分 ●横浜市営地下鉄「関内駅」1 番出口 / 徒歩 10 分

●みなとみらい線「日本大通り駅」3 番出口 / 徒歩 0 分

(TEL : 045-664-3737 / FAX : 045-664-3788)

申し込み方法：参加希望の方は、横浜国立大学 COI サテライト シンポジウム参加申込フォーム

(URL: <http://coi-tms.ynu.ac.jp/regi/registration-form.html>) にご記入の上、お申込みください。

3. 講演その 2

情報、エネルギー分野の取り組み

九州大学 プラットフォームユニット 高野 茂 | 九州大学 准教授

：演題未定

東京大学 EMS サテライト 松橋 隆治 | 東京大学 教授

：演題未定

4. 特別講演

Aaron Golub | Associate Professor, Portland State University

：演題未定

5. パネルセッション

パネルディスカッション 1

：持続可能な未来都市を支える交通システムのイノベーション

有吉 亮 | 横浜国立大学 特任准教授

関口 昌幸 | 横浜市

尾神 充倫 | UR 都市機構

パネルディスカッション 2

：タイトル未定

中村 文彦 | 横浜国立大学 理事・副学長

森川 高行 | 名古屋大学 教授

Aaron Golub | Associate Professor, Portland State University

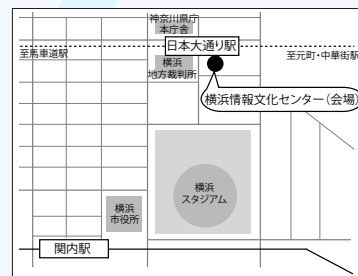
6. クロージング

プロジェクトリーダー挨拶

石原 晋也 | 共進化社会システム創成 拠点・プロジェクトリーダー

閉会挨拶

中村 文彦 | 横浜国立大学 理事・副学長



会場へのアクセスマップ